

## 漏水調査診断方法

参考図

調査管に高圧散水機のガンを差し込み水圧を送る

外壁タイル浮き箇所等に設置

既存防水層の切れ等を確認する為、シンダー伸縮目地上に調査管を設置

漏水箇所(亀裂)

漏水箇所より流出を確認

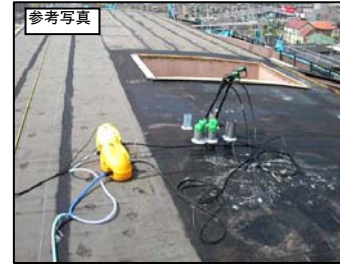
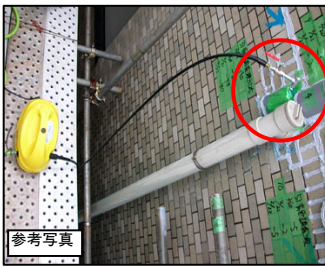
※各作業状況が解りやすい様に図面を展開しています。

不具合箇所に設置された調査管より高圧散水機を用いて水を圧送してポイントで散水を行い漏水箇所への水の流出により雨水浸入原因箇所の特定を行う。



高圧散水装置  
AJP-80

各部位名称	仕様 (AJP-80)
①モーター	周波数 50/60Hz 電流 14A 消費電力 1.400W(100V) 絶縁方式 二重絶縁
②能力	圧力 8.0MPa 水量 6.0ℓ/min
③ポンプ	型式 3連プランジャ 許容水温 60℃
④寸法	395L × 230W × 270H(mm)
⑤質量	9.7kg



目視調査を基に設置した調査管に高圧洗浄機のガンを差し込み固定し水圧を送り部分的に降雨時を再現。

大屋根ルーフィング不具合箇所などでもポイントで散水試験調査が行うことができる。

調査日程： 内装解体・撤去及び漏水部確認、外部目視調査(1日)  
ポスト散水試験調査、調査管撤去(2日)  
報告書作成 調査完了後 1～2週間

作業行程 以下のタイムテーブルで調査を進行します。  
※作業進行状況により若干時間が前後する事があるので、その際は御協力下さい。

- ※1. 補修工事 原因確認後補修内容検討の上別途、打合せ。
- ※2. 漏水確認箇所1箇所に対して上記の日数がかかります。
- ※3. 室内解体後、漏水部確認の状況により調査日数・内様の変更があります。

	9:00	12:00	13:00	16:00	17:00
1日目	室内作業内容	内装解体・漏水箇所確認		漏水箇所水受け養生設置	撤去・清掃
	外部作業内容	外部目視調査	昼食	調査管設置	
2～3日目	室内作業内容	漏水箇所確認		漏水箇所確認	撤去・清掃
	外部作業内容	ポスト散水試験調査		ポスト散水試験調査・調査管撤去	

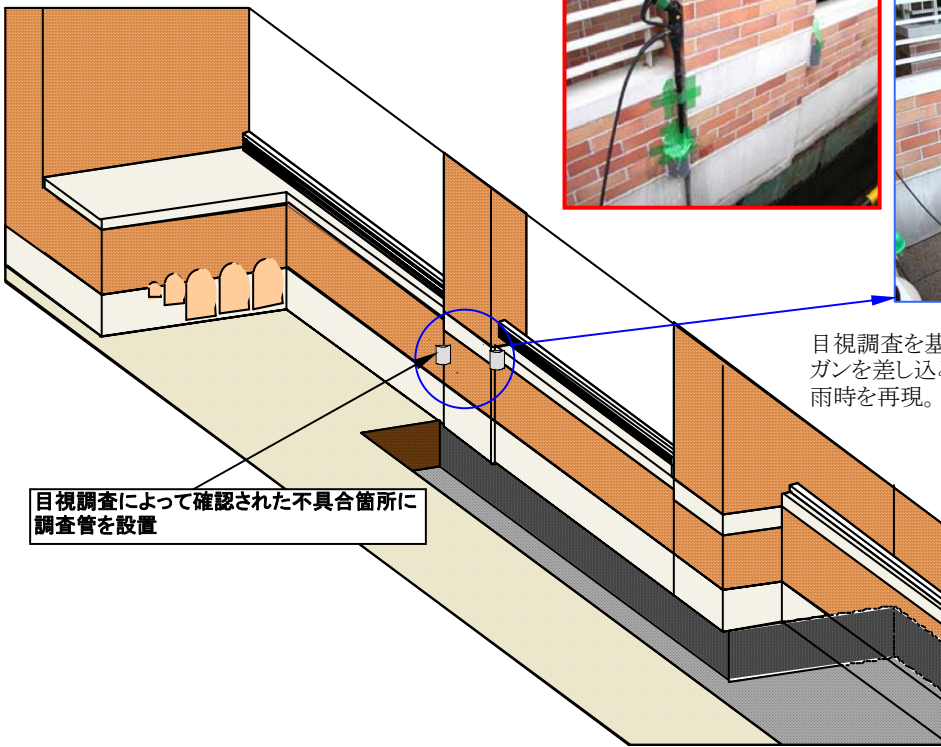
【 Ⅲ ポスト散水試験調査 】

ポスト散水試験調査作業状況

外部目視調査による漏水原因と予測される不具合箇所調査管を設置固定後、高圧洗浄機にて水圧を送り部分的に降雨時の再現を行い、漏水箇所への流出の有無を確認し、雨水浸入原因となりうる箇所を特定及び雨水浸入経路を予測する。

※1. 部位別ごとに調査管(ポスト)に注入する液体の色を決める為、同一色の調査液が注入された調査管が多数あるので、その調査管の中から雨水浸入原因箇所の特定する為、ポスト散水を行う。

ポスト散水試験調査状況



目視調査によって確認された不具合箇所に調査管を設置

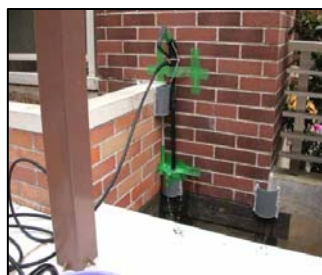
目視調査を基に設置した調査管に高圧洗浄機のガン差し込み、固定して水圧を送り部分的に降雨時を再現。

参考写真

ポスト散水試験調査は様々な不具合箇所において、ポイントでの散水試験調査が行えます。



大屋根ルーフィング不具合箇所



外壁タイル不具合箇所



シダー伸縮目地



サッシシーリング肌別れ箇所



参考写真



参考写真

室内流出状況参考写真



参考写真

各箇所に対するの散水時間は30分～1時間程度となり各部位の散水完了後、室内を確認します。